

# 永寿園とよなか

香島栄八 様作

平成29年 第5号

発行人：所長 宇津木 久志  
発行：永寿園とよなか  
〒560-0084  
大阪府豊中市新千里南町3-2-122  
TEL：06-6840-2211  
FAX：06-6840-2214  
E-mail：eijuentoyonakal22@seagreen.ocn.ne.jp  
URL：http://www.osj.or.jp/eijyuen/

## 新年明けましておめでとうございます

仕事に就いた当初は寮母さんと呼ばれていた介護職員が介護福祉士となり、介護保険制度導入と共に介護支援専門員の資格がでけるなど、福祉に携わる者も専門職として認知されてきました。それに伴い施設の形態も増え様々な福祉サービスは職員やサービスの資質を問われる選択の時代へと変わってきました。昨年は特に高齢者施設に

う光栄な出来事がありました。事業団に在籍して38年目を迎え、叙勲の話を頂いた時は長くこの仕事に携わっているからと思っていました。日が経つと共に、長く勤められるという事はこの仕事が好きだという事もあります。仕事に携わる人々に助けて頂きながら、良好な関係や環境があつたからこそ、今の私がある。と改めて考える機会となり更に精進せねば...と思つた次第です。

今年の元旦は穏やかな天候となり、今年一年もこのように穏やかな日々となりますように、と願っています。私事ですが、昨年の叙勲で瑞宝単褒章を授与されることとなり、11月11日、皇居に参内し天皇陛下に拝謁という光栄な出来事がありました。



養護介護科長  
堀 令子



その為にも皆様からのご支援やご協力、そして忌憚のないご意見やご指導を賜りますよう、本年も何卒「永寿園とよなか」をよろしくお願い申し上げます。

おける虐待問題が大きく取り上げられ、改めて職員の資質や施設の体制が問題となった年でもありました。永寿園とよなからは今年開設5年目を迎えます。昨年12月には施設内に保育園も開園し、以前にも増して活気のある施設となりました。徐々にはありますが地域の施設として、皆様に受け入れて頂きつつあるかの手ごたえも感じています。今年には更に地域との繋がりを大切に、人権を尊重したサービスの提供に努め、地域貢献事業に積極的に取り組むことで皆様に信頼され選んでいただける施設運営に努めてまいります。

# 地域との交流について

平成25年4月より、豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなかの生活相談員をしております石田英弘です。永寿園とよなかは、この東泉丘の地域で平成25年3月に開所し、入居者様並びに地域の方々のおかげで4年目を迎えることが出来ました。

現在、永寿園とよなかは社会福祉法人としての責務とされた公益的な取り組みを積極的に取り組んでおります。地域の方を対象に介護予防や生涯学習の機会を社会貢献事業と位置づけ、笑いがテーマのヨガや落語会、健康をテーマにした医療専門職の講師による講座を毎月無料で開催しております。認知症サポーター養成講座は偶数月の定期講座と自治会や企業からの依頼による出前講座も行っています。また、施設内のスペースを地域活動の目的として一般の方へ開放し、子育てサロンやおしゃべりサロン、自治会活動などや夏季は幼児用プールも設置し多くの方々にご利用



生活相談員  
石田英弘

用いただいております。また、地域の方々に活躍していただく場所としてボランティアの受入れを積極的にを行い、とよなか地域ささえ愛ポイント事業の受入れ施設としても登録しております。永寿園とよなかは地域との関係を深めるために夜店まつり、花火鑑賞会、屋上ビアガーデン、東泉丘小学校との餅つき大会などを開催しました。また、東泉丘校区の小学校運動会、公民分館体育祭、高齢者部会に参加させて頂いています。今後この東泉丘の地域とより一層深い関係が築けるよう取り組んでいきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



笑いヨガ



子育てサロン「ももちゃん」



行事報告

# 敬老祝賀会



永寿園とよなかの催しの中で最も盛大であり、最も重要な行事が9月15日(木)に行われました。敬老祝賀会です。地域交流室にて多くのご来賓の方々にご出席いただき、盛大に執り行われました。今年も多くの入居者様が長寿を記念してお祝いを受けられました。

昼食はお祝い膳を召し上がって頂き、「おいしいわ。」「今日はお馳走ね。」と自然と笑顔になられ皆様のよろこばれている様子が伺えました。お祝いの式典では永寿園とよなか最高齢の方からお言葉を頂くことが出来ました。



式典後、入居者様有志のカラオケ大会を開催しました。お一人ずつマイクを取り歌って頂きましたが、歌詞がずれていた時や、わからない時は他の方も口ずさまれたり、掛け声をされるなど和やかな雰囲気でした。フロアーに戻られた後も、式典や落語のお話を入居者様同士でお話をされています。今後の入居者様のますますのご健康をお祈りしています。



## 行事報告

## ボランティアコンサート



8月28日(日)特養の職員がお友達とバンドを組んで、ボランティアで老人施設に行つて演奏をしているとの話を聞いて、永寿園とよなかでもぜひ演奏して欲しいとお願いをすると快く引き受けて頂き、この日、コンサートが開催されました。キーボード、オカリナ、三線、サックスと言うユニークな編成での演奏です。たくさんの入居者様に参加され、バンド演奏を楽しみました。演奏後、また聴きたいとリクエストの声が上がるほど、盛況なコンサートでした。

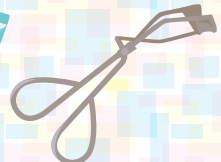


行事報告

# メイクボランティア



10月8日(土)今年も来てくれました。入居者様に大人気のメイクアップボランティア。年に回の大阪医専×大阪モード学園の学生ボランティアの方々によるメイク、ネイル、手浴ボランティアです。  
お化粧や、ネイルをしてもらい満面の笑みでお話も弾まれました。



# 栄養士より

管理栄養士 笠間 基寛

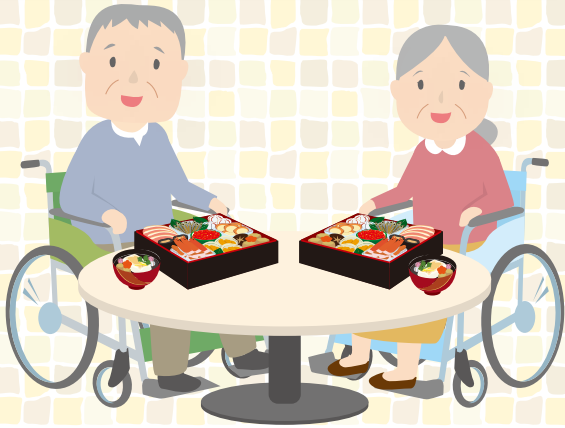


今年の敬老の日の祝膳は、「いつも以上に、より良く満足していただける祝膳の提供」をテーマに、天ぷらと握り寿司、鰻の蒲焼きをお弁当形式に盛り付けました。

入居者の皆様、普段はほとんど食卓に並ばないビールやサイ

ダーを飲みながら「美味しいですよ」と祝膳を頬張りながら笑顔で喜んでいただきました。

更に「より良い満足」へのプレッシャーが強くなるのですが、じつくりとアイディアを捻り出して行こうと意気込んでおります。



# 医務室より

管理医師 塚 未奈子



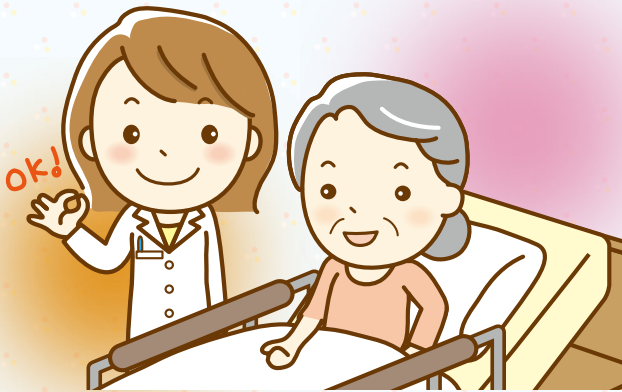
## 一年を振り返って

永寿園とよなかに勤めさせて頂き、一年が経ちました。今、振り返って見ると、あつという間の二年間でした。

の方々の病気を良くしてあげたいと言う思いが強かった私ですが、最近は皆さんが楽しく生活を送れる事が一番！と感じるようになりました。

無茶な生活をして、病気が悪化する事は良くないですが、ここは皆さんにとってお家そのもの。

食事を制限して、節制を強いるばかりでなく、「その人の望みを少しでも叶えながら、病気をコントロールして差上げたい」と思うようになったのは、永寿園とよなかで働くスタッフの皆さんが、親身になって、いつも明るく働いている姿に感動したからです。入居されている方々の一番の理解者であるスタッフの皆さんに助言をいただきながら、私も永寿園とよなかの一員として頑張らせて頂きたいと思っております。これからもよろしくお願います。



# えいじゅ・とよなか保育園

園長 榎 靖枝

午前7:30～午後6:30 (日祝・年末年始休日)



平成28年12月1日に開園しましたえいじゅ・とよなか保育園です。

情緒豊かな子、健康で元気な子、思いやりのある子を保育目標に掲げ、子どもたちの笑顔の為、成長の為に保育士一同、質の高い保育を心がけています。

かわいい1歳児2歳児たちが、沢山のおもちゃ、絵本、音楽に囲まれて、日々楽しく過ごしています。施設の利用者様や、地域の方々との交流も積極的に行っていることと想っていますので、えいじゅ・とよなか保育園のちいさなお友達を優しく見守っていただきますようお願い致します。

## 入園対象児

### ■平成28年度

#### 対象年齢

1歳児 (H26年4月2日～H27年4月1日生まれ)

2歳児 (H25年4月2日～H26年4月1日生まれ)

### ■平成29年度

#### 対象年齢

1歳児 (H27年4月2日～H28年4月1日生まれ)

2歳児 (H26年4月2日～H27年4月1日生まれ)



園長・保育士  
榎 靖枝

12月1日にオープンしたえいじゅ・とよなか保育園に配属されました保育士の榎靖枝と申します。

子どもたちが、楽しく安全に毎日を過ごせるよう、職員と力を合わせて頑張っていきたいと思っておりますので、皆様どうぞよろしくお願い致します。



保育士  
長井 由佳

この度10月1日付でえいじゅ・とよなか保育園に配属されました保育士の長井由佳と申します。

子どもたちが笑顔いっぱい日々を過ごすために、家庭的でアットホームな空間を大切に保育をしていきたいと思っております。これからよろしくお願い致します。



保育士  
稲田 みゆき

この度、えいじゅ・とよなか保育園の保育士として配属されました稲田みゆきと申します。

様々な交流を通して、子どもたち、保護者だけでなく、地域の方々、利用者の方々みんなに愛される保育園となるよう、努力してまいります。皆様どうぞよろしくお願い致します。

## ステップアップ事業

## 認知症サポーター養成講座

永寿園とよなかでは、「認知症を知り、地域をつくる」をテーマに、2カ月に1度「認知症サポーター養成講座」を開催しています。

認知症について少しでも関心のある方ならどなた様でも参加可能です。

●今年中には  
平成29年2月25日(土)  
14時～

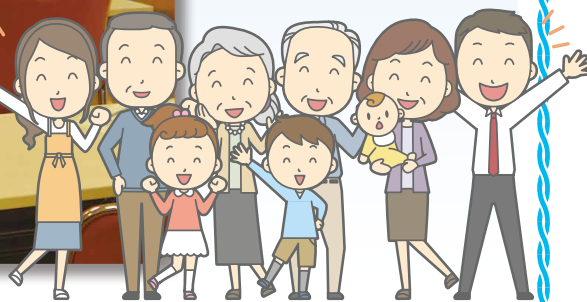
開催予定となっています。

受講された方には、認知症サポーターの証である「オレンジリング」が渡されます。

皆様のご参加をお待ちしています。



認知症対応の  
ポイントについて  
寸劇実践中!!



外出から帰宅し財布を探しています。まず、同居する息子の妻を呼んで一緒に探検するのですが、なかなか出てこない。悪い例と良い例を買い置いた点が変わったかを注意してください。お聞きします。

多々自愛下さいませ。

次号は、春にお届けできるように準備をしていきますので、お楽しみにしてください。

多々和 里香

## 編集後記

今年度第2号、お待ちいたしました。秋にお届けしようと思っておりましたが、あれもこれものお知らせしたい内容が増え、新年のご挨拶と共に届けたいことになりました。

今号は、夏と秋の行事、秋の叙勲を受賞された堀介護科長、12月に開園したえいじゅとよなか保育園の紹介です。

夏の行事では「ビアガーデン」「夏祭り」「花火鑑賞会」は、着実に恒例行事となり、沢山の地域の方々が足を運んで下さいました。永寿園とよなが少しずつ地域の皆様にも浸透してきたなと感じることが出来ました。お手伝いして下さった、ボランティアの皆様方にも感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

施設内の行事も演奏会や落語等、バリエーションが増えてきており、入居者の皆様も楽しまれています。最後にこの時期、もうインフルエンザやノロウイルス等感染症のニュースが日々流れています。皆様、どうぞご自愛下さいませ。